

# 海の路

Vol. 30

S E A R O A D 2 0 1 8

- 巻頭言 ..... P.1
- 平成29年度総会 ..... P.2~4
- 平成29年度担当者会 ..... P.5~9
- 環境事業委員会活動 ..... P.10~12
- 魅力検討委員会活動 ..... P.13・14
- 情報発信委員会活動・防災委員会活動... P.15
- 瀬戸内海活性化活動支援報告 ..... P.16・17
- 瀬戸内海クルーズ推進活動支援報告 ..... P.18・19
- 後援活動報告 ..... P.20
- 第11回瀬戸内海首長サミット ..... P.21・22



瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会

## 会員構成

### 大阪ブロック

大阪府 泉佐野市  
大阪府 泉南市  
堺市 阪南市  
岸和田市 忠岡町  
泉大津市 田尻町  
貝塚市 岬町  
高石市

### 兵庫ブロック

兵庫県 相生市  
神戸市 加古川市  
姫路市 赤穂市  
尼崎市 高砂市  
明石市 南あわじ市  
西宮市 淡路市  
洲本市 たつの市  
芦屋市 播磨町

### 和歌山ブロック

和歌山県 湯浅町  
和歌山市 広川町  
海南市 日高町  
有田市 由良町

### 岡山ブロック

岡山県 笠岡市  
岡山市 備前市  
倉敷市 瀬戸内市  
玉野市 浅口市

### 広島ブロック

広島県 大竹市  
広島市 東広島市  
呉市 廿日市市  
竹原市 江田島市  
三原市 海田町  
尾道市 坂町  
福山市 大崎上島町

### 徳島ブロック

徳島県 小松島市  
徳島市 阿南市  
鳴門市 松茂町

### 香川ブロック

香川県 三豊市  
高松市 土庄町  
丸亀市 小豆島町  
坂出市 直島町  
観音寺市 宇多津町  
さぬき市 多度津町  
東かがわ市

### 愛媛ブロック

愛媛県 伊予市  
松山市 四国中央市  
今治市 西予市  
宇和島市 上島町  
八幡浜市 松前町  
新居浜市 伊方町  
西条市 愛南町  
大洲市

### 周防灘ブロック (山口・福岡・大分)

山口県 福岡県  
下関市 北九州市  
宇部市 苅田町  
山口市 大分県  
防府市 大分市  
岩国市 別府市  
光市 佐伯市  
柳井市 中津市  
周南市 臼杵市  
山陽小野田市 津久見市  
周防大島町 国東市  
上関町 姫島村  
平生町

### 国会員

近畿地方整備局 九州地方整備局 中国運輸局  
中国地方整備局 近畿運輸局 四国運輸局  
四国地方整備局 神戸運輸監理部 九州運輸局

## 航路情報提供Webサイト 「みなとナビせとうち」

<http://www2.uminet.jp/top/>



QRコードで携帯から簡単アクセス  
<http://www2.uminet.jp/k/navi.jsp?cd=i>

### みなとナビ広島

<http://www2.uminet.jp/>  
「みなとナビ Hiroshima」は広島港を発着するフェリー、旅客船の運航状況など、港を利用する方に役立つ情報を提供するWebサイトです。

### みなとナビ三原・尾道

<http://www2.uminet.jp/mihara/>  
「みなとナビ 三原・尾道」は三原港および尾道港を発着するフェリー、旅客船の運航状況など、港を利用する方に役立つ情報を提供するWebサイトです。

### みなとナビ高松・宇野

<http://www2.uminet.jp/takamatsu/>  
「みなとナビ 高松・宇野」は高松港および宇野港を発着するフェリー、旅客船の運航状況など、港を利用する方に役立つ情報を提供するWebサイトです。

## 協議会Webサイト「海の路」

<http://www.uminet.jp/>



## 瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会

発行/瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会事務局  
協議会Webサイト「海の路」 <http://www.uminet.jp/>  
みなとナビせとうち <http://www2.uminet.jp/top/>

海の路 Vol. 30

# 巻頭言



瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会 会長  
おはな まさひろ  
和歌山市長 尾花 正啓

寄稿

会員の皆様におかれましては、平素より瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会の活動にご尽力をいただき、厚く御礼申し上げます。

昨年6月、和歌山県和歌山市にて開催いたしました瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会平成29年度総会及び第11回瀬戸内海首長サミットには、瀬戸内沿岸各地域より総勢13市町の首長をはじめ、近畿・中国・四国・九州から多くの関係者の皆様にご参加いただき誠にありがとうございました。

本総会では、平成28年度の事業・収支決算報告と平成29年度の事業計画・予算案などが議論され、瀬戸内地域の交流・連携・地域振興・防災にかかる支援制度の活用などについて決議されました。

また首長サミットでは、「瀬戸内の魅力を世界へ向けて発信〜クルーズ等による瀬戸内の地域資源を活かした観光振興〜」と題して、海ネット会員同士が連携して、瀬戸内クルーズ振興とその魅力を発信するためのブランド化を目指すには、どのような取組を進めていけばよいか活発な意見

## 平成29年度総会

平成29年6月2日(金)和歌山県和歌山市にて、瀬戸内海の路ネットワーク推進協議会平成29年度総会を開催いたしました。総会には、瀬戸内海沿岸各地から12市町の首長と会員である各自治体及び地方整備局等の担当者約150名が参加して開催されました。

第1部の総会では、平成28年度の事業・収支決算報告と今年度の事業計画・収支予算案等について審議が行われ原案どおり可決されました。また、「瀬戸内の魅力発信と地域活性の取り組み」と題して、(株)せとうちホールディング永堀敬太氏、「瀬戸内クルーズに関する提案」と題して、(財)みなと総合研究財団山縣宣彦氏からご講演をいただきました。

第2部では、第11回瀬戸内海首長サミットが12市町の首長参加により開催されました。「瀬戸内の魅力を世界へ向けて発信〜クルーズ等による瀬戸内の地域資源を活かした観光振興〜」をテーマとして話し合わせ、瀬戸内周遊クルーズによる観光振興とその魅力を発信するためのブランド化を目指すにはどのような取組を進めていけばよいか活発な議論が行われました。



総会の様子

### 総会議事

総会の開会にあたり、協議会会長及び地元開催市である尾花正啓和歌山市長より、「本日はご多忙の中、国土交通省の津田参事官、和歌山県から森戸部長並びに国土交通省の関係の皆様さらに各首長の皆様、ようこそ和歌山市においでください。市を代表して心から歓迎申し上げます。本協議会の70会員が締結している瀬戸内・海の路ネットワーク災害時相互応援に関する協定に関しては、今後高い確率で発生が予想される南海トラフ巨大地震等に対し、円滑かつ迅速

交換が行われました。

瀬戸内海の観光資源は世界的にみても希有なものです。瀬戸内の観光振興を行うためには、これら資源を繋いで瀬戸内海全体でブランディングし、日本及び世界に発信していくことが重要です。そのためには、会員皆様方の連携が何よりも大事になりますので、尚一層の連携強化をお願いしたいと思います。

そして、本協議会の骨格事業である「リフレッシュ瀬戸内」には、昨年も約51,000人ものボランティアの方々にご参加いただき、約330トンのゴミを回収することができました。

美しい海、美しい海岸を自身の手できれいにしていくという意識を高めていく上で、大変意義深いものだと思います。

今後も、瀬戸内・海の路の地域振興に努めるとともに、瀬戸内のなお一層の魅力発信により、更なる会員相互の絆と、連携を図りながら、瀬戸内地域全体の発展に取り組みで参りますので、皆様の益々のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

## 平成29年6月1日 和歌山県和歌山市

な応援に資するための共有可能な資機材・物資リストや連絡体制の確保に努めている。「受け継ごう、きれいで豊かな瀬戸の海」を合い言葉として活動している「リフレッシュ瀬戸内」については、海岸周辺の清掃を中心に多くのボランティアの協力のもと継続して実施され、今年度で25年目となった。また、クルーズに関しては昨年、クルーズ船により日本を訪れた外国人は200万人近くにのぼっており、政府も2020年には訪日クルーズ旅客数500万人を目指しているところ。瀬戸内海の多島美は海外の方々にも大変人気があり、今後ますますクルーズ旅客船がやってくることになる。各寄港地において会員の皆様を実施されている客船歓迎イベントや誘致活動などに対しても、当協議会より支援を行っているところである。このような活動を通じ、会員同士の連携強化を図っていくことが重要であり、今後も当協議会の一層の活性化のため、会員の皆様からお寄せいただいた提案や地域情報など、当協議会の活動に生かしていきたいと思う。引き続き、会員の皆様においては海ネット協議会活動への理解と協力をお願いす



尾花 正啓 和歌山市長

る。「つぎに地元開催市として『和歌山市は瀬戸内海の東の入り口であり、周辺は瀬戸内海国立公園に接しており、非常に海岸のきれいなところである。和歌山市に隣接する海南市、有田市3市で和歌山下津港がある。和歌山下津港は江戸時代から堺、大阪、四国からの寄港地として栄えてきた。和歌山下津港はみかん船、紀伊国屋文左衛門がみかんを売って非常に大きな財を成したということと有名である。明治時代には木材港として、近年では重工業、住友金属、花王工業等の理化学工業によって栄えてきた。現在では国際拠点港湾として、日本の産業工業の変遷とともにいろいろな役割を担っている。一昨年みなとオアシスに認定いただき、これからは物流だけではなく港自体を地域

の人々と共に魅力のある港にしようということで活発な活動を続けている。近年クルーズ船の需要が伸びてきている。是非瀬戸内海の皆様方と連携しながら、クルーズネットワーク、クルーズ船の振興を図っていききたいと思うのでよろしくお願ひ申し上げます。」との歓迎の挨拶をいただきました。

続いて、津田修「国土交通省大臣官房技術参事官より、「当協議会においては、平成3年5月の設立以来、海を綺麗にするリフレッシュ活動や災害に強い物流ネットワークの構築など、長きに渡って様々な活動に取り組んでおられる。クルーズに関しては、国土交通省では2020年に訪日クルーズ船に乗ってくるお客様は500万人を目指しています。そのため、官民一体となった取り組みを進めている。和歌山市の和歌山下津港において尾花市長を先頭にクルーズ寄港のおもてなしをしていただいております。寄港が増加しているところである。クルーズ船の寄港は多くの観光客が訪れることによつて地域での消費活動につながるだけではなく、人々のふれあいと地元の魅力をいかに発信していくかという観点から地方創生に繋がる活動だと考えている。国土交通省港湾局では全国クルーズ活性化協議会の支援を行い、国際クルーズ旅客受け入れ機能高度化事業の創設など様々な支援活動に取り組んでいる。美しい瀬戸内海が日本だけでなく世界のクルーズの中心となることを期待している。」との挨拶をいただきました。



津田 修一 国土交通省大臣官房技術参事官



森戸 義貴 和歌山県土整備部長

続いて、来賓挨拶として、森戸義貴和歌山県土整備部長より、「和歌山県は古くから海運による瀬戸内海沿岸の各地との交流が盛んな地域で、瀬戸内海沿岸の一員としてさらに連携を深めることは非常に有意義なものと考えている。各地の観光資源が相互に連携して、その魅力を世界中に発信していくことが重要と考えている。本県において県の主要事業としてクルーズ

## 第11回 瀬戸内海首長サミット

これまでの瀬戸内海首長サミットでは、平成27年「第9回首長サミット」において、海ネット会員同士が連携してクルーズ振興に取り組む議論が交わされ、昨年平成28年の「第10回首長サミット」では、クルーズの活性化に向けて地方創生に繋がる周遊ルートの可能性について活発な議論が行われました。



第11回瀬戸内海首長サミットの様子

瀬戸内海は、多島美を有する景観、歴史、文化など多様な地域資源があり、海外からの関心も高く、非常に多くの人々を魅了してきました。このような瀬戸内の魅力を活かした取り組みの一つとして、瀬戸内の地域資源を活かしたクルーズ文化を確立していくことにより、交流人口増加等による地域経済の発展、またクルーズ船が寄港することにより国内外への地域の魅力が発信され、地域の魅力の再発見にもつながると考えます。

今年度の第11回瀬戸内海首長サミットでは、「瀬戸内の魅力を世界へ向けて発信！クルーズ等による瀬戸内の地域資源を活かした観光復興」をテーマとし、海ネット会員同士が連携して、瀬戸内クルーズ振興とその魅力を発信するためのブランド化を目指すには、どのような取り組みを進めていけばよいか活発な議論が行われました。

翌6月3日(土)には、和歌山城、紀州東照宮、和歌山マリーナシティの視察を行いました。(視察先の詳細は下記のとおり)

船の誘致による地域振興に取り組んでいる。6月7日(2017年)に県内の市町村と関係団体からなる「和歌山県クルーズ振興協議会」を設立する。県をあげてクルーズ船の誘致を推進します。この会場近傍の和歌山市をはじめ、世界遺産高野山や熊野古道、隣の海南市の黒江地域、湯浅瀬戸(和歌山県有田郡)から発祥した醤油、日本のなぎさ100選に選ばれた由良町(和歌山県日高郡)の白崎海岸など数多くの観光資源を有しており、我が県のクルーズを誘致するためにも瀬戸内海沿岸の各地の観光資源が相互に連携して、その魅力を世界中に発信して行くことが重要と考えています。」との挨拶をいただきました。



上山 章善 湯浅町長

総会議事については、議長に選出された、上山章善湯浅町長の議事進行により、平成28年度の事業・収支決算報告、平成29年度の事業計画・予算案などの7議案について審議が行われました。平成29年度においては、「リフレッシュ瀬戸内」の参加人数の拡大を図るための活動や、会員同士の連携や瀬戸内地域の交流・連携、地域振興の取組が積極的に展開されるよう「海ネットイベントプランコンテンツ」等の各支援制度の活用推進、平成30年度総会を愛媛県宇和島市で開催することなどが決議されました。

また、「瀬戸内の魅力発信と地域活性の取り組み」と題して(株)せとうちホールディングス永堀敬太氏、「瀬戸内クルーズに関する提案」と題して(一財)みなと総合研究財団山縣宣彦氏よりご講演をいただきました。

○和歌山城 天正13年(1585年)に紀州を平定した豊臣秀吉が弟の秀長に築城させたのが始まりで、紀州特産の青石(緑泥片岩)が多く使われ、紀州五十五万五千石の城となり、水戸・尾張と並び、徳川御三家のひとつとして長い歴史を刻んできました。現在の天守閣は、戦災後の昭和33年(1958年)に再建されたもので、内部には徳川家ゆかりの品が多数展示されています。

○紀州東照宮 元和7年(1621年)、徳川頼宣が南海道の総鎮護として創建したもので、社殿に向かう参道は緑のトンネルになっていて、参道を過ぎると目の前に108段の急な階段「侍坂」が待っています。登りつめると、「関西の日光」とも呼ばれ、権現造りの重要文化財建造物である社殿が望めます。漆塗・極彩色の精巧な彫刻、狩野・土佐両派の絵の豪華さに目を奪われ、特に左甚五郎作の彫刻や狩野探幽作のふすま絵は必見です。

○和歌山マリーナシティ 平成6年にリゾート基地とし埋め立てられた人工島で、ポルトヨーロッパ、黒潮市場、和歌山マリーナシティホテルといった集客施設を有しています。また海とのふれあい、海の楽しさを満喫できるように、日本初の全長約1kmのダブルデッキ型親水性防波堤が整備されています。



和歌山城視察の様子



紀州東照宮視察の様子



和歌山港マリーナシティ視察の様子

# 瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会 平成29年度担当者会の開催報告

平成29年10月5日(木)～6日(金)の2日間、福岡県苅田町にて、瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会担当者会を開催しました。当日は約70名が参加し、今年度の活動報告や来年度の総会提案事項に向けた活動方針等について議論が行われました。

また、6日に行われました現地視察では、九州電力(株)苅田発電所や日産自動車九州(株)九州工場を視察しました。



担当者会の様子

## 開会



山本 洋史 広島市都市整備局みなと振興課長

担当者会の開会にあたり、当協議会の幹事長である、山本洋史広島市都市整備局みなと振興課長より、「本年6月2日に和歌山県和歌山市において開催された総会及び第11回瀬戸内海首長サミットでは、13名の首長様に参加いただき、「瀬戸内の魅力を世界へ向けて発信」クルーズ等による瀬戸内の地域資源を活かした観光振興」をテーマに建設的な議論をいただき、非常に有意義なものとなった。本日の4つの実行委員会(分科会)においても率直な意見を出していただくことによって、より中身の濃い議論をお願いしたい。」との開会挨拶をいただきました。

## 平成29年度事業報告、分科会(実行委員会)及び全体会

平成29年度の事業報告として、これまでの会員活動への支援の申請状況と実施済み事業の報告を行いました。支援事業である「瀬戸内海活性化活動支援」、「瀬戸内海クルーズ推進活動支援」、「リフレッシュ瀬戸内全体拠点地環境関連行事等連携支援」、「瀬戸内・海の路利用振興事業」、「海ネットサポーター提案事業」、「防災対策推進活動支援」について、引き続き募集を行っていますので会員の皆様の積極的な活用をお願いします。来年度の総会は愛媛県宇和島市にて開催、担当者会については兵庫県神戸市にて開催するの皆様の参加をお願いしたい、との説明が事務局よりありました。

続いて、昨年度の「海ネットイベントプランコンテスト」のイベント実施報告が行われました。最優秀賞「うじな潮風フェスタ」広島市は、「今回で第5回目となり、「広島県内最大級のフラダンスフェスティバル」をテーマにした市民イベントで、会場は絶えず賑わった。イベントが定着してきたことで港の存在が身近になっていると感じた。」と報告して頂きました。

イベントプランコンテスト 実施報告の様子



最優秀賞 広島市

引き続き、魅力検討委員会、環境事業委員会、情報発信委員会、防災委員会の4つの実行委員会に分かれての議論が行われました。

第2部の全体会では、各実行委員会での議論の内容報告、及び平成30年度の活動内容についての方向性が提示されました。瀬戸内海地域の振興・発展、協議会活動を推進していく上でも、各種支援事業について積極的な申請をお願いしたい、との説明が事務局よりありました。

次に、開催地を代表して、吉廣啓子苅田町長より、「苅田町は、周防灘に面して苅田港と広大な臨海工業地帯を擁し、苅田港沖には24時間運用可能な北九州空港があり、陸・海・空の玄関口を持つ町である。苅田港は戦前に石炭の積み出し港として建設が始まり、臨海部には、自動車やセメント産業、発電所など日本有数の企業が集積するなど、西瀬戸内地域の物流の拠点として発展してきた。昨年の取扱貨物量は過去最高を記録し、このうち約3分の1の貨物が瀬戸内海の各港に係している。今後も瀬戸内海沿岸の市町村の皆様と一体となって、海を活かした地域づくりを考え実践し、共に発展していきたい。」との歓迎の挨拶をいただきました。



吉廣 啓子 苅田町長

実行委員会においても担当者から活発な意見や質問がなされ、大変有意義な担当者会となりました。なお、魅力検討委員会、環境事業委員会、情報発信委員会、防災委員会での各議論の内容は以下のとおりです。

## 分科会

### 魅力検討委員会

魅力検討委員会では、平成29年度の活動状況と平成30年度の活動方針を議論しました。「海ネットイベントプランコンテスト」に関しては、応募が低調な状況にあったことから、平成29年度の応募より、審査方法が書類審査のみになり、プレゼン及び担当者会での結果報告をなくするなど、手続きも大幅に簡素化したところです。

分科会では、助成されるかどうか、助成される可能性を早期に把握したいという意見が出されました。次年度に実施されるかどうかかわからないという意見なども踏まえ、応募の期間を可能な限り延長したところですが、これについては、応募状況など途中経過を会員へ情報提供していくことを確認しました。より多くの申請のために、海ネットの担当課以外にも広げて会員内部で情報共有していくことも確認しました。



魅力検討委員会の様子

また、「瀬戸内・海の路利用振興事業」と「海ネットサポーター提案事業」については、防災の観点があり、ハードルの高さを感じるとの意見が出され、これまでの過去の特に防災の観点をわかりやすく情報提供してはどうかとの意見を頂きました。今後、わかりやすく事例を紹介し、制度利用をより一層促進するための対策を講じることを確認しました。

最後に、平成30年度の活動方針として、「海ネットイベントプランコンテスト」で選ばれた事業を積極的に支援するとともに、見直された制度の実施結果を踏まえ、更なる見直しが必要かどうかを検討していくこと、「瀬戸内・海の路利用振興事業」、「海ネットサポーター提案事業」により、会員間の連携による防災ネットワーク機能の強化を視野に入れた瀬戸内・海の路の利用振興を推進することについて、了承されました。

### ■環境事業委員会

これまで環境事業委員会は、「リフレッシュ瀬戸内」と「海の健康診断調査」を、環境事業委員会の骨格事業として継続して実施しており、その目的は、多くの人に参加できる海岸清掃活動を通じ、瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会の取り組みの理解を深めるものです。

今回の担当者会「環境事業分科会」では、ここ数年、参加者及び回収ゴミ量について減少傾向にあることから、現在の「リフレッシュ瀬戸内」の実施にあたっての問題点について報告いただき、会員間で情報共有するとともに、その改善策について分科会で検討いただきました。

また、「リフレッシュ瀬戸内全体拠点 環境関連行事等連携支援」について、今年度活用されなかったことから、全体拠点でイベントを行わない場合は、他の実施

今年度これまでの取り組みとして、下記のご報告されました。

- ① 4月にHPをリニューアルし、文字の認識性やセキュリティの脆弱性が解消され、またシステムメンテナンス費用も削減された。
  - ② HPリニューアル後、各会員にID・パスワード・操作マニュアルを配布し、どの会員でも簡単に情報発信が可能となった。
  - ③ HPリニューアル前後で今年度と昨年度のアクセス数を比較すると、約2.2倍増と大幅に増加した。
- 今後の取り組みとして、次のことが議論されました。
- ① 来年度当初、各会員から通年のイベント情報を集約し、集約された情報を元にHPで情報発信していく。
  - ② 各会員が公表しているクルーズ船の寄港予定情報を海ネットHPにも掲載する。
  - ③ 各会員に定期的に情報発信依頼を行う。
  - ④ 毎年度当初、各会員にID・パスワードを再配布する。
  - ⑤ 各委員会事務局において、活動内容や支援事業等を更新し、また現在、各会員へメールで行っている各種事務連絡をHPに掲載するなど、HPを積極的に活用する。



情報発信委員会の様子



環境事業委員会の様子

- ・周辺企業の従業員の参加しかない。
  - ・学校に声かけを行ったり、プロ野球選手のサイン会等を行えばどうか。
  - ②「リフレッシュ瀬戸内全体拠点 環境関連行事等連携支援」について  
・分科会出席者からは了承をいただきました。
- これら議論頂いた結果を受け、リフレッシュ瀬戸内の事業計画に関する部分は、環境事業委員会所属会員と相談の上、来年度の実施方針に反映、幹事会総会へお諮りしていきます。

### ■情報発信委員会

情報発信委員会では、「海ネットホームページ（以下、HP）の充実に向けた取り組み」と題して、今年度これまでの取り組みと今後の取り組みについて協議しました。

### ■防災委員会

防災委員会では、平成29年度の取り組みについて状況報告を行うとともに、平成30年度の活動方針、活動内容について議論を行いました。

平成29年度の状況報告では、①締結会員の拡大、②防災活動内容等の情報発信、③情報伝達訓練結果、④防災対策推進活動支援事業、⑤協定締結手続き方法の簡素化・変更について報告を行いました。

- ①については、7月21日に芦屋市、和歌山市、備前市、また8月14日に周南市が協定締結を完了し、現在の協定締結会員数は74会員になったことを報告しました。
- ②については、「海の路」webサイトの防災委員会活動計画のページの更新、また最新の協定書を掲載したことを報告しました。
- ③については、8月10日に実施した情報伝達訓練のマッチング結果やアンケート結果についての説明、また後日会員に結果の取りまとめを送付し、情報の共有を図ることを報告しました。
- ④については、「海の路」webサイトに情報を掲載するとともに、海ネット全会員にメールで応募の働きかけを行ったことを報告しました。
- ⑤については、協定参加申請書を協定運営協議会幹事から防災委員会事務局に変更したこと、押印回送の手続きについては、会員数の増大により、長期間を要することから、押印回送を取りやめ、手続きの簡素化を図ったことを報告しました。



防災委員会の様子

地で希望があれば制度活用できるようにしてはどうかと提案を行いました。

- ①問題点・改善策について、次の意見をいただきました。
- ・参加者数の減少については、梅田駅や難波駅にチラシを置いてもらうことや、NPO団体等との連携が必要では。
- ・人数だけを伸ばすのであれば、漁協や団体が行っている清掃活動も取り込めばよい。
- ・ゴミが少なくやる気がおきないとの声がある。

また平成30年度の活動方針としては、協定書第12条に規定する協定の実効性の確保に向けての訓練実施と防災対策推進活動支援事業の積極的な活用を図るための広報を重点施策として取り組むことを提案しました。

具体的な活動内容については以下の2点を重点的に取り組んでいくことと了承されました。

①情報伝達訓練方法の見直し

協定締結会員数が当初から飛躍的に増加し、今までの情報伝達訓練の方法では地域ブロック幹事、副幹事の負担が大きすぎるため、新たな方法で訓練を実施していくよう、訓練方法の見直しを検討し、災害時における協定の実効性の確保に繋げていきます。

②防災対策推進活動支援事業の支援要件の緩和

防災対策推進活動支援事業はこれまでに2回しか活用されておらず、平成27年度から応募がない状況です。そのため、広報活動をより積極的に行うとともに、今後広く活用されるよう、支援要件の緩和を検討していくこととします。

現地視察

翌日は、九州電力(株)苅田発電所工場内を視察する予定でしたが、あいにくの雨模様のため急遽変更となり、事務所会議室内において苅田発電所の概要説明、また九州地方整備局苅田港湾事務所から苅田港の概



苅田港の概要説明

環境事業委員会活動

リフレッシュ瀬戸内の開催について  
全体拠点地レポート

周防灘(山口・福岡・大分)ブロック

平成29年6月1日から8月31日の間、「受け継ごう、きれいで豊かな瀬戸の海」を言葉に25回目となる「リフレッシュ瀬戸内」を開催しました。今年度は、瀬戸内海沿岸各地の273箇所での開催となり、50,606人のボランティアの方々が参加し、約328tのゴミを回収することができました。

全体拠点地の山口県下関市では、実施日の7月2日にボランティア345人が参加し、約3tものゴミを回収しました。

参加者からは、「今回初めて海岸清掃に参加しましたが、想像以上にゴミが漂着していて驚きました。清掃後はきれいになったので、参加して良かったです。」「子供たちを連れて参加しました。ごみを一生懸命集める子供たちの姿を見て、海や自然環境のことを考えるいいきっかけになったと感じています。」「今回初参加ですが、思ったより多くの方が参加しており、清掃前には散乱していたゴミがあっという間に片付けられ、すっきりした気持ちになりました。来年も是非参加したいと思えます。」「といった声をいただきました。

今後も、豊かな自然を受け継いでゆくため、この活動を継続していきたいと考えています。



清掃活動状況

平成29年度リフレッシュ瀬戸内実施結果

府県	ブロック拠点	実施箇所数	参加人数(人)	ゴミ収集量(t)	府県	ブロック拠点	実施箇所数	参加人数(人)	ゴミ収集量(t)
大阪府	大阪市*	4	634	1.8	徳島県	鳴門市	11	2,757	7.6
兵庫県	神戸市*	22	2,167	17.7	愛媛県	伊予市	80	5,248	66.5
和歌山県	和歌山市	13	1,042	16.9	周防灘(山口県)	下関市	26	20,286	88.1
岡山県	玉野市	10	2,830	9.3	周防灘(福岡県・大分県)		16	3,329	22.5
広島県	呉市	38	5,259	47.6	合計	-	273	50,606	327.5
香川県	三豊市	53	7,054	49.4					

下関市は全体拠点地 \*大阪市、神戸市は中止

要説明を受けました。

その後、日産自動車九州(株)九州工場において、工場の概要や生産車種等の説明を受けたあと、ゲストホールや工場内を視察しました。工場視察では、各種生産工程を見学し、また当日は完成自動車を運ぶ自動車運搬船が入港しており、遠くからでしたがその大きさには驚かされました。また、ゲストホールには、発売前の新車「リーフ」や昭和12年製モデル「ダットサン」等が展示されており、参加者は興味津々で視察していました。



日産自動車九州工場ゲストホール内の視察



日産自動車九州工場の概要説明



九州電力苅田発電所の概要説明

# リフレッシュ瀬戸内 ブロック拠点地レポート

## 海の健康診断調査を実施しました

環境事業委員会では、「ゴミを捨てない」「ゴミを捨てさせない」といったゴミ排出抑制につながる予防的な取り組みを推進させるために、平成14年度から瀬戸内海沿岸地域の美化活動「リフレッシュ瀬戸内」と連携して、国際ビーチクリーンアップキャンペーンで実施されている手法を取り入れた「海の健康診断調査」(ゴミの組成調査)を実施しています。

平成29年度は全ブロック中10箇所において調査を実施しました(伊予市は同市内で実施のため、1箇所として整理)。なお、実施箇所及び実施結果につきましては、以下のとおりです。

素材別に見ますとプラスチック類と発泡スチロール類が全体的に多く、過去と同様の結果が得られました。

これまでの継続的な調査により、ゴミの地域特性が明らかになってきており、瀬戸内海に住む人々のゴミに対する意識向上に役立てていきたいと考えています。

今後も調査を継続していくことにより、瀬戸内海全体で共通するゴミ、各地域の特徴的なゴミを情報発信し、ゴミ排出抑制への啓発活動に役立て、美しい瀬戸内海を次の世代に継承していく取り組みに繋げていきます。

### 岡山ブロック(三豊市)



7月9日(日)、玉野市洗川海岸において実施しました。約620名の参加があり、約0.1トンのゴミを回収しました。

**参加者からの意見**

「毎年参加しており、この清掃をすると海水浴場の季節が近づいたと感じる。」「清掃活動の後にある、ホンダによるバギー清掃を見に来た。」「毎年この時期に行われていて、地域では定着している清掃活動だと思う。もっとこういった取組が増えてほしい。」「海の大切さを学んでほしいと思っ子供と参加している。」「海藻がたくさん漂着しており、ゴミよりも多かった。」

### 広島ブロック(呉市)



7月1日(土)、呉市音戸大浦崎海岸において実施しました。約180名の参加があり、約1.8トンのゴミを回収しました。

**参加者からの意見**

「毎年参加しているが、みんなで清掃をすることという間にきれいになり、気持ちよくなる。」「暑かったけど、海をきれいにすることはとてもよかったと思う。」「ひとりではなかなかできないことでも、みんなですることで自分も参加しやすく、おまけに海がきれいになり、とってもいい行事だと思う。」「毎年続けてほしい。」「最初はそんなにゴミがなさそうに見えたけど、集めてみるとたくさん量になり、ビックリした。」

### 和歌山ブロック(和歌山市)



6月18日(日)、和歌山市加太海岸において実施しました。約200名の参加があり、ペットボトルや、缶、ビンなど約2.7トンのゴミを回収しました。

**参加者からの意見**

海浜のゴミの種類や量が分かり、後日実施予定の地元自治会や企業とのリフレッシュ瀬戸内事業(清掃活動)の参考となった。

### 周防灘ブロック(山口・福岡・大分)



岩国市(青木海岸)

**参加者からの意見**

最近の海岸ゴミの種類や量の傾向を把握できた。

姫島村(みつげ海岸)

**参加者からの意見**


今年のごみの少ない年でした。参加者全員が日頃の活動の成果を実感でき、続けることの大切さを感じるこの出来た良い日だったかと思えます。

### 広島ブロック



廿日市市(地御前海岸)

### 岡山ブロック



(笠岡市)夏目海岸

**参加者からの意見**

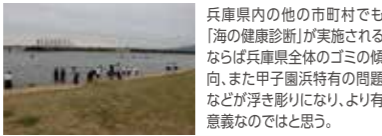
捨てられているゴミの種類がよく分かった。

備前市(頭島外輪海水浴場)

**参加者からの意見**

漂着ゴミを調査することにより、ゴミが発生する原因、漂着ルート、ゴミを減量化する方法について考えることができた。

### 兵庫ブロック

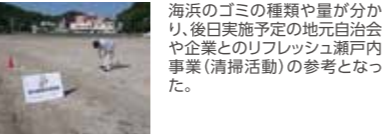


西宮市(甲子園浜海岸)

**参加者からの意見**

兵庫県内の他の市町村でも「海の健康診断」が実施されるならば兵庫県全体のゴミの傾向、また甲子園浜特有の問題などが浮き彫りになり、より有意義なのではと思う。

### 和歌山ブロック

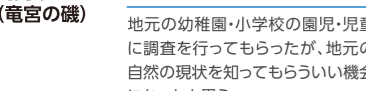


和歌山市(加太海岸)

**参加者からの意見**

海浜のゴミの種類や量が分かり、後日実施予定の地元自治会や企業とのリフレッシュ瀬戸内事業(清掃活動)の参考となった。

### 徳島ブロック

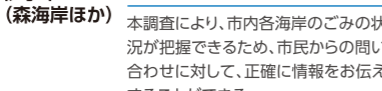


鳴門市(電宮の磯)

**参加者からの意見**

地元の幼稚園・小学校の園児・児童に調査を行ってもらったが、地元の自然の現状を知ってもらえるいい機会になったと思う。

### 愛媛ブロック

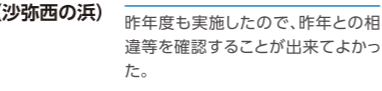


伊予市(森海岸ほか)

**参加者からの意見**

本調査により、市内各海岸のごみの状況が把握できるため、市民からの問い合わせに対して、正確に情報をお伝えすることができる。

### 香川ブロック



坂出市(沙弥西の浜)

**参加者からの意見**

昨年度も実施したので、昨年との相違等を確認することが出来てよかった。

### 愛媛ブロック(伊予市)



7月16日(日)、伊予市森海岸ほか6箇所において実施しました。697名の参加があり、36.7トンのゴミを回収しました。

**参加者からの意見**

「毎年参加していますが、今年は団体もあり、会場がすぐ近くでこの海岸にも多くの人がかかると思うので、選手や応援に来た人が不快な思いをしないように、いつも以上に積極的に清掃活動に取り組むことができました。」「今年はいじめ団体があるということで、参加者が少しでも会場周辺をきれいにしてほしいと、いつも以上に積極的にゴミを拾っていたように思う。今後この調子で清掃活動を続けていくことができれば、ごみのないきれいな海岸にすることができると思う。」「今回初めて参加した。たまにはクリーン活動に参加するのいいものだと感じました。思っていたよりもごみが多く、大変でしたがきれいな海岸を見ることができてよかったという気持ちになりました。またこのような機会があれば参加していきたいです。」

### 徳島ブロック(鳴門市)



5月31日(水)、鳴門市大毛海岸において実施しました。70名の参加があり、約0.5トンのゴミを回収しました。

**参加者からの意見**

「普段は何気なく海を見て暮らしているが、改めて見るとゴミがたくさんあることに気付いた。きれいな海岸を今後も守っていききたい。」「バーベキューをした跡と思われる燃えた炭のかけらが時々見つけた。みんなの海岸なので、楽しく安全に遊ぶようマナーを守って利用してほしいと思った。」「最後に一箇所に集めたゴミの量を見て驚いたとともに、参加者一人一人の協力があってこそ、たくさん量のゴミを集めて、海岸をきれいにする事ができたという達成感も味わうことができた。」「小さい子どもたちも、こうした活動を通して、自分たちが暮らす地域のことを少しでも大切に思う気持ちが芽生えたらいいなと思った。」

### 香川ブロック(三豊市)



6月11日(日)、三豊市船越海岸において実施しました。65名の参加があり、約1トンのゴミを回収しました。

**参加者からの意見**

「もう20年以上、毎年この地元の海をみんなで掃除している。昔に比べ、海にはゴミが多く集まるのが残念でならない。一人ひとりがマナーに気を配り、きれいな海を後世に残していきたい。」「毎朝、海岸沿いを愛犬と一緒に散歩している。海のすぐそばで暮らす私たちが、海は恵みを与えてくれたり、自然の厳しさを教えてくれる存在。これからも、ゴミのないきれいな海の近くで暮らしていきたい。」



兵庫ブロック	和歌山ブロック	岡山ブロック	周防灘ブロック(山口・福岡・大分)
西宮市(甲子園浜)	和歌山市(加太海岸)	笠岡市(夏目海岸)	岩国市(青木海岸)
プラスチック類 97.5%	プラスチック類 88%	プラスチック類 51.2%	プラスチック類 48.6%
金属 1.3%	紙・ガラス類・複合素材他 4%	紙 23.3%	プラスチック類 44.4%
紙 0.6%		発泡スチロール 20.9%	発泡スチロール 4.2%
		ガラス類 1.5%	金属 9.5%
※2位同率			
徳島ブロック	香川ブロック	愛媛ブロック	大阪ブロック(大阪市)
鳴門市(電宮の磯)	坂出市(沙弥西の浜)	伊予市(森海岸)	未実施
プラスチック類 47.3%	プラスチック類 64.3%	プラスチック類 75%	兵庫ブロック(神戸市)
紙 23.1%	発泡スチロール 35.7%	発泡スチロール 25%	未実施
金属 12.1%		金属・紙・複合素材他 1.5%	
※3位同率			

※「クリーンアップ全国事務局」の基準に基づいたアイテム別99分類ごとの組成について、各海岸ごとの上位(組成の多い方)から3位までを(個数%)で記載。

## 「海ネットイベント プランコンテスト」 への支援

瀬戸内の豊かな自然環境や歴史的な地域文化の保全・継承や、瀬戸内ブランドの価値の向上など、オリジナリティ溢れる地域活性化イベント等への支援を拡充するため「海ネットイベントプランコンテスト」を実施しています。

「海ネットイベントプランコンテスト」は、事前に企画した瀬戸内の魅力を向上させるイベントプランを会員から募集し、コンテスト形式により支援対象イベントを決定、賞に合わせた支援をするものであり、継続的に実施しているイベントの発展、目的意識の明確化、会員間の情報交換の促進などの効果も期待するものです。

平成30年度実施予定のイベントプランコンテストからは、募集期間及び審査方法が変更になりました。募集期間については、これまで9月中旬頃を締切りとしていましたが、翌年1月末までと大幅に募集期間を延長し、審査方法についても、コンテスト形式から、全会員による書類審査により受賞企画を決定する審査方法に変更されました。このことによりこれまでの、プレゼンや実施結果の報告などがなくなり、手続きの簡素化が図られました。結果、平成30年度のイベントプランコンテストについての応募数は、10件と大幅に増えました。

全会員による審査投票の結果、受賞企画が決定しました。審査投票は2月に行われ、次のイベント企画が決定されました。来年度以降も、この審査方法により多くの応募が期待されます。

- 最優秀賞 七タバーンナイト in うじな(広島県広島市)
- 優秀賞 紀州湯浅のシロウオまつり (和歌山県湯浅町)
- 奨励賞 宇治島サニアイランド クリーン作戦(広島県)



## 「第5回 うじな潮風フェスタ」

- 会 員 広島市(広島県)
- 開催日 平成29年7月15日(土)、16日(日)
- 内 容 海の日の前日祭として、広島島の海の玄関口である広島港宇品旅客ターミナル東側広場及び広島みなと公園で、出演者延べ400名を超える広島県内最大級の野外フラダンスフェスティバルを開催しました。これは、ハワイアングルメ、ワークショップ、ハワイアン雑貨の販売等、フラ文化に関連するプログラムやコンテンツを中心としたハワイアンフェスタとして、7月15日、16日の2日間の開催で来場者数約8,000人という実績を残すことができました。

ハワイアン関連以外の内容としては、生産者直売型青空市場ひろしまみなとマルシェ開催5周年企画のキッチンワークショップ「青空キッチンライブ」とマルシェの開催、狼煙イベントとの



タイアップや、南区公式キャラクターこぶじんと広島競輪場のマスコットのひろしまぴーすけのステージ出演、大道芸人の路上パフォーマンス、シャボン玉体験、昨年好評だったキッチンカーの出店強化、手作り雑貨のワークショップや展示販売などバリエーション豊かに内容を組みました。

● 参加者(来場者数) 約8,000人

## 瀬戸内のブランド化に 向けた官民連携活動 (海ネットサポーター提案事業)

官民連携による瀬戸内の新たな賑わいを創出するため平成23年度に制度化された「海ネットサポーター」は、設立当初の55団体から85団体(平成30年3月時点)にまで拡大しています。

「海ネットサポーター提案事業」は、行政である会員と民間の海ネットサポーターが連携した瀬戸内のブランド化に向けた地域振興への取り組みに対して支援を行うものであり、平成29年度は2件の事業を実施しました。

## UNOICHI presents 客船入港イベント 『Voyage of night3』

- 実施会員及び海ネットサポーター名… 玉野市、UNOICHI実行委員会
- 実施日…平成29年4月16日

フランス船籍豪華客船「ロストラル」が宇野港に入港するにあわせて、岡山県、玉野市、海ネットサポーターであるUNOICHIと連携して入港歓迎イベントをクルーズ客船が係留する宇野港第1突堤で開催しました。当日は、岡山県内外の瀬戸内の街から飲食、グッズ、ワークショップを展開する約30店が集まり、クルーズ船乗客、クルー、県内

外から訪れるお客様のおもてなしを行いました。イベントの運営には地元の高校生をはじめ、大学生、高校生、中学生が多数参加し、店舗の出展やおもてなしを主体的に行い、地域の魅力発信に大いに貢献しました。



来場目標3000人に対して、13,300人が来場!



ロストラルイベント

## 小松島DE クルージング 婚活パーティー

- 実施会員及び海ネットサポーター名… 小松島市、有会社 浜田造船所
- 実施日…平成29年9月30日

小松島市が海ネットサポーターである有会社 浜田造船所と連携し、クルージングを活用した婚活パーティーを実施。チャリ、SNS、フリーペーパー、新聞などでの広報により男女各15名、合計30名を集め、カップリングも成立しました。





## 情報発信委員会活動

### WEBサイト「海の路」のコンテンツの更新作業を行いました。

情報発信委員会では、WEBサイト「海の路」の中身を充実させるため、「海の路」のコンテンツの更新作業を行いました。具体的には、旧サイトにリンクされていたままの「マリーナ・ビジターパス」129件、「瀬戸内で遊ぶ」332件、「瀬戸内で遊ぶ」85件を更新し、TOPページには新たにサイト内検索機能を追加しました。また、リンク切れや前年度以前の未更新部分を更新し、より新しい情報に更新しております。その他、サイトへのアクセス数や検索ワード機能を備え付けたアクセス解析も行うようになっていきます。今後はこれらの機能を活用し、より魅力的なWEBサイトを目指します。

内容の更新作業とは別に、会員の皆様からより新しく、より多くの情報を発信できる体制を目指し、定期的に情報提供依頼をさせていただいております。会員ご自身での情報発信も可能となっております。海ネットサイト管理ホームページに「運用マニュアル」を掲載しておりますので、是非ご覧ください。今後とも海ネットホームページを活用した積極的な情報発信をよろしくお願い致します。



## 瀬戸内海活性化活動支援報告

## 防災委員会活動

### 海ネット協定に基づく情報伝達訓練を実施

平成29年8月10日に「瀬戸内・海の路ネットワーク災害時相互応援に関する協定(海ネット協定)」の実効性の確保を目的に、協定締結共助会員73会員(現在74会員)のうち、58会員の参加のもと、情報伝達訓練を行いました。

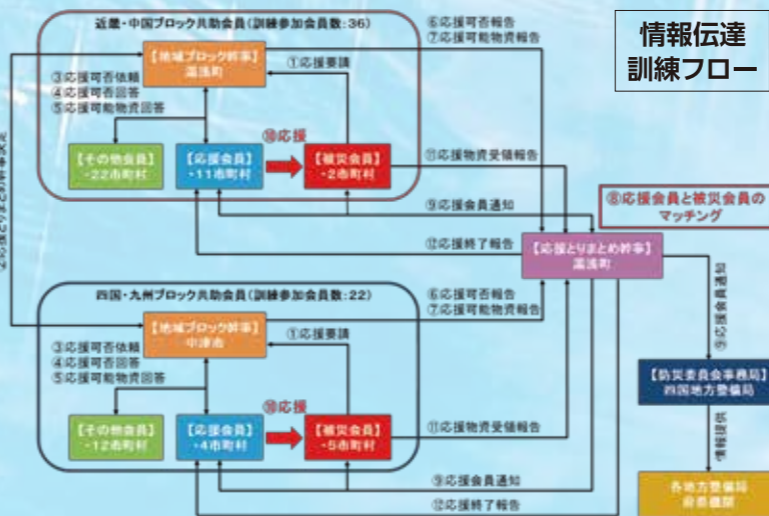
本訓練は平成25年度から毎年実施(平成28年度は熊本地震の影響で未実施)しており、本年度も過去の訓練同様、情報伝達体制の確立と迅速な応援を重点項目として実施しました。

今回の訓練では「訓練手順の欠如」、「応援とりまとめ幹事による応援会員と被災会員のマッチング作業にかかる負担」、「訓練様式の複雑さ」等の原因により、予定終了時間を超過する結果となりました。

またマッチングを行う上での優先すべき項目では、被災会員と応援会員の距離等についても課題となり、今後マッチングする上での新たなルールの策定が必要であると感じました。

今後は、訓練結果やアンケートで頂いた意見をもとに、災害時に迅速な応援ができるよう訓練内容等の改善を図るとともに、全共助会員が全ての役割を経験できるように継続して訓練を実施し、更なる協定の実効性の確保に向けた取り組みを行っていきたく考えています。

※マッチング：被災会員の求める物資に対し、応援会員の応援可能な物資を調整すること。



## 個別活動支援

### ①ふくやま港まつり

■会員名/福山市  
■実施時期/平成29年10月14日(土)、10月15日(日)、10月17日(火)  
■実施概要/市民の港や海に対する親しみや関心を高めるとともに、福山港や福山港に関連する施設・事業を広くPRし、港と地域の振興に寄与することを目的として、「ふくやま港まつり2017」を開催しました。

帆船「海王丸」を招致して歓迎式典、セイルドリル(操帆訓練)及び船内一般公開の開催や中国地方整備局広島港湾・空港整備事務所の港湾業務艇「りゅうせい」の体験乗船、観光船による福山港ミニクルーズ、福山港国際CFS内を解説を聞きながら見学、荷役会社による大型荷役機械のデモンストレーション・展示などが行われました。

また、動物とのふれあい、市民参加型ステージ、体験ブース、飲食ブースなどももうけられ、約2万4千人が来場しました。



## ネットワーク活動支援

### ①姫路港ふれあいフェスティバル(夏版)

■パイロットグループ/兵庫県、姫路市  
■実施時期/平成29年7月17日(月・海の日)  
■実施概要/みなとのにぎわい創出を行なう場として国土交通省近畿地方整備局に認定されている「みなとオアシス姫路」の周辺施設である飾万津臨港公園及びその周辺において、県民・市民参画型イベントである「姫路港ふれあいフェスティバル」を開催しました。

飾万津臨港公園では、姫路の特産品やご当地グルメを提供する「みなとふれあいスクエア」や地域団体を中心としたステージ演奏を披露する「ふれあいポートステージ」など、姫路港旅客ターミナル周辺では、海上自衛隊、海上保安庁、国土交通省神戸港湾事務所の艦船の一般公開、しらす姫路みなとドームでは、参加型サッカーイベントを開催しました。また今年、文化庁から日本遺産として認定された銀の馬車道73kmのうち6.5kmを歩く、銀の馬車道ウォークを同時開催しました。

さらに会場では、「みなとオアシス姫路」の施設として認定されている「姫路みなとミュージアム」をゴールとしたスタンプラリーを実施し、来場者にみなとの歴史や地域の文化に親しんでもらいました。



## ①「ロストラル」寄港歓迎イベント

会員名/香川県  
実施期間/平成29年5月11日(木)  
実施概要/客船「ロストラル」が、「IN THE HEART OF JAPAN」で高松港に寄港しました。歓迎イベントとして鉄砲隊演武、讃岐うどんの振る舞いやダンスパフォーマンスを行いました。鉄砲隊は乗客から写真撮影も求められ、ダンスパフォーマンスは乗客に大きな拍手をいただくなど、大変好評でした。乗船客は、地元の人と交流できる機会を楽しまれており、また、乗船客・乗組員の他に、客船を見に来られる方で賑わいました。歓迎行事の告知では「海ネット」の後援であることをPRしました。



## ②客船「ぱしふいっくびいなす」「にっぽん丸」入出港歓迎行事

会員名/下関市  
実施時期/平成29年8月13日(日)・14日(月)  
実施概要/平成29年8月13日に開催された関門海峡花火大会に合わせて、クルーズ客船株式会社運航の客船「ぱしふいっくびいなす」が「阿波おどり」と関門海峡花火クルーズとして、商船三井客船株式会社運航の客船「にっぽん丸」が「済州島と海峡花火・阿波おどりクルーズ」として下関港に入港。寄港に合わせて歓迎式典等おもてなし行事を各種実施し、下関港の魅力向上、ひいては瀬戸内海地域の更なる振興・PRを図りました。



## ③「にっぽん丸」出港歓送行事

会員名/兵庫県・姫路市 実施時期/平成29年9月23日(土)  
実施概要/「にっぽん丸」の歓迎にあたり、地元のゆるキャラや地元の太鼓集団「鼓」による演奏などで、クルーズ客船乗船前の旅行者を歓迎し、出港時には地元ゆるキャラ等とともに大勢の市民の方が、紙テープを使って盛大に見送りました。歓送式典には、旅行者の家族や関係者のみならず、一般市民も含め約150名がイベントのために集まりました。おのおのゆるキャラやクルーズ客船を背景に写真撮影を行うなど、クルーズ参加者、イベント参加者ともに楽しめるイベントとなりました。また、一般市民向け船内見学及び船内クルーズセミナーの実施により、クルーズに対する市民の機運を醸成するものとなりました。



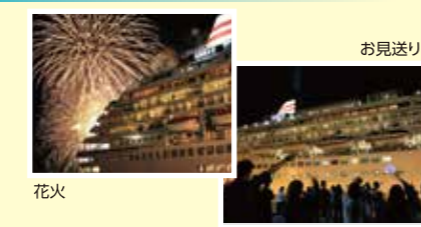
## ④「シルバー・ディスカバラー」寄港歓迎イベント

会員名/岡山県・玉野市  
実施時期/平成29年9月26日(火)  
実施概要/クルーズ客船「シルバー・ディスカバラー」が乗客約100名を乗せて宇野港へ寄港しました。大型客船の寄港は、宇野港宇野地区のにぎわい創出と、県内の観光振興につながることから、入港時に歓迎セレモニーやアトラクションを実施し、岡山県ひいては瀬戸内海全域の振興を図りました。



## ⑤飛鳥II寄港・出港歓迎セレモニー

会員名/防府市  
実施時期/平成29年10月6日(金)  
実施概要/平成29年10月3日から7日にかけて、「～幕末・維新のロマンを訪ねて～瀬戸内秋紀行クルーズ」と題したツアーが実施されました。飛鳥IIは国内最大級のクルーズ船で、今回が防府(三田尻中関港)初寄港となりました。歓迎セレモニー、地元特産品の展示販売、県内の地酒販売、お見送りの花火打ち上げといった「おもてなし」を通じて、同船の定期的な寄港誘致につなげていきます。



## ⑥ぱしふいっくびいなす入港歓迎式

会員名/宇部市  
実施時期/平成29年10月19日(木)  
実施概要/ぱしふいっくびいなす入港歓迎にあたり、入港時には地元園児やゆるキャラによるお出迎え、放水セレモニーの実施を行いました。また乗客には、宇部産車海老の塩焼きが振る舞われました。また、出港時には市長挨拶、記念品贈呈を行われ、吹奏楽の演奏によりお見送りを行いました。



# 瀬戸内海クルーズ推進活動支援報告(クルーズ船等寄港地歓迎イベント支援)

## ②中四国・瀬戸内クルージングサミット 幹事会

■パイロットグループ/三豊市、福山市、高松市、瀬戸内市、新居浜市  
■実施期間/平成29年4月～平成30年3月  
■実施概要/

瀬戸内海の魅力を「クルージング」という海の視点から再発見し、参加5市の連携を図ることで地域の活性化、発展に寄与することを目的とし、平成22年8月に公共マリーナを有する5つの公共団体を構成員として「中四国・瀬戸内クルージングサミット協議会」を設立しました。設立以来、毎年持ち回りで各市でサミットを開催し、専門家による基調講演や各市長によるサミット(シンポジウム)、開催市での体験クルーズを実施し、本協議会会員市で連携を取りながら瀬戸内海の素晴らしさを広く発信し、知名度向上に努めてきました。

今年度は、平成30年度に瀬戸内海クルージングツアーの商品を造成し、販売していくための企画・検討する場として幹事会を開催しました。幹事会には瀬戸内海クルーズに携わっている事業者にアドバイザーとして入ってもらい、旅行会社や旅行者のニーズ、商品造成についてのノウハウ等の助言を受け、併せて、旅行会社の瀬戸内海クルージングツアーに対するニーズ調査のための商談会への参加・聞き取り調査の実施及び、より魅力的なオリジナルツアー造成のため、実際に瀬戸内海の島々をめぐる観光資源調査を実施しました。



## ③広島みなとフェスタ

■パイロットグループ/広島市、江田島市  
■実施時期/平成30年3月17日(土)～平成30年3月18日(日)  
■実施概要/

港の魅力を広く一般市民に発信するため、広島港を中心とした大規模なイベントを開催しました。

港及び周辺のにぎわいづくりとして「港と島を音でつなげ隊」を似島へ2日間派遣し、港と島の活性化をより広く図ることができました。また、港に関わる事業として「みやじままでちょっとランチクルーズ」を企画し、港の大切な役割を知っていただくことができました。また、クイーンエリザベス号の入港歓迎イベントを開催する五日市港と連携し、シャトルバスを運行することで、会場間の交流を行うことができました。

江田島市については江田島PR隊として出店し、地鶏を使った炭火焼きや江田島産のカキを使用した炊き込みご飯の販売を行い、江田島をPRしました。また、江田島のPRのチラシ等を購入者に配布し、広島と近い港として広報を行いました。

独自のホームページやフェイスブックを利用することにより、リアルタイムの情報を提供でき、たくさんの方に興味を持ってもらうことができました。また、夕方の地元テレビに出演しPR活動を行いました。



# 後援活動報告

## ① マリン・グラン・フェスタ2017

日時：平成29年4月15日(土)～16日(日)  
 場所：広島観音マリーナ(広島市)  
 主催：広島ポートショー実行委員会、海の駅ネットワーク、第六管区海上保安本部、国土交通省中国運輸局

概要：イベントを合同開催し、海事思想の普及、船艇産業の振興、安全なマリンスポーツの推進、「海の駅」の周知、地域の活性化及び利用拡大等を図ることを目的として開催しました。



クルーズヨット体験乗船



イベントの様子

## ② UNOICHI 海が見える港のマルシェ

日時：平成29年4月16日(日)、6月18日(日)、7月17日(月)  
 場所：宇野港第1突堤緑地等  
 主催：UNOICHI実行委員会

概要：宇野港を軸に「海・港・船つながり」や瀬戸内海の魅力とともに、次世代を担う若い世代が、主体的に企画・運営に携わることでグローバルリーダーの育成を行い、海と港の魅力の再発見や移住・定住の促進などにも取り組むことで将来にわたる地域の活性化を図ることを目的として、以下のイベントを実施しました。

- 4月16日(日) 客船入港イベント [Voyage of Night 3]
- 6月18日(日) 客船入港イベント [Ship's log 2]
- 7月17日(月) 夏の夜のUNOICHI 夜の海を楽しむマルシェ



客船「ロストラル」前方にフォトスポットとした鯉のぼりを設置



親子で楽しめるワークショップ体験

## ③ 平成29年度瀬戸内クルーズセミナー

日時：平成29年11月27日(月)  
 場所：大阪合同庁舎  
 主催：瀬戸内海観光連携推進会議

概要：西日本の地方運輸局5局(近畿、神戸、中国、四国、九州)のトップで構成される「瀬戸内海観光連携推進会議」では、今年度も爆発的に増加しているアジア地域での外国クルーズ客船を瀬戸内海エリアに誘引し、急増する外国人旅行者もこのエリアに取り込んで行く方を地域が検討していく「助となることを目的に大阪市内において瀬戸内クルーズセミナー」を実施しました。



セミナー



船社等相談会

## ⑦ ぱしふいっくびいなす寄港歓迎行事

会員名/福山市  
 実施時期/平成29年11月24日(金)  
 実施概要/ぱしふいっくびいなす寄港歓迎として、園児によるお出迎え、備後の物産品販売、甘酒のふるまい、観光案内車の浦観光散策チケットによる町内回遊の取り組み、琴の演奏、鯛網漁船によりお見送りを行いました。また、事前に参加者を募ったクルーズセミナー&船内見学を実施し、43名が参加をしました。



クルーズセミナー

鯛の浦観光



## ⑧ 「にっぽん丸」寄港歓迎イベント

会員名/柳井市  
 実施時期/平成30年1月12日(金)  
 実施概要/「にっぽん丸」歓迎として、歓迎セレモニー、金魚ちょうちん制作、フラワーアレンジメントの体験教室開催、摘香ミカンでつくる特産品「橘香酢(きっかす)」を使ったウエルカムドリンク配布、地元小学生による絵手紙配布、もちつき体験・もち配布、カーネーションを使ったフラワーゲート設置、フラワーポットの配布、横断幕の設置を行いました。下船時に配布したホットドリンクや絵手紙、乗船時に配布した紅白もちが好評で、絵手紙は40通を超える返信がありました。



橘香酢ホットドリンク配布、フラワーゲート



お見送り

## ⑨ 「ぱしふいっくびいなす」歓迎イベント

会員名/和歌山市  
 実施時期/平成30年3月27日(火)  
 実施概要/和歌山下津港に寄港した「ぱしふいっくびいなす」の乗船客を始めとする関係者の皆様に対して、瀬戸内海東端の和歌山の魅力を広く知ってもらい、ひいては瀬戸内海全体の人気を高めることを目的として、地域全体でお出迎え・お見送りのおもてなしイベントを開催しました。入港時の歓迎イベントでは、地元高等学校の吹奏楽部生徒による演奏を披露しました。また、出港時のお見送りイベントでは、地元の「黒潮躍虎太鼓保存会」による和太鼓演奏を披露するとともに、クルーズ船を間近で見ることが出来る岸壁を一般開放し、港に集まった皆様とペンライト(ケミカルライト)でお見送りを行いました。



入港時イベント 地元高校生による演奏



出港時イベント ケミカルライトと手旗

## ⑩ 「シルバー・ディスカバラー」寄港歓迎イベント

会員名/北九州市  
 実施時期/平成30年3月28日(水)  
 実施概要/シルバー・シーが運航する「シルバー・ディスカバラー」が約100名の乗客を乗せて3月28日に北九州の門司へ寄港しました。岸壁では中間市や、北九州市内の地元店舗によりお土産品の販売を行い、瀬戸内の一港である門司のにぎわいづくりを行うと共に、その魅力をPRしました。また、ゆるキャラによる出迎えと見送り、着付け体験や風呂敷ラッピング教室の実施、地元中学校による吹奏楽の演奏、バルーンリリースによる見送りを行いました。



お土産品販売



ゆるキャラによる歓迎

## クルーズ船誘致活動支援

### ① 平成29年度『クルーズせとうち』セミナー

会員名/広島県  
 実施時期/平成29年12月11日(月)  
 実施概要/平成29年12月11日、東京都のTKP赤坂駅カンファレンスセンターにて、船会社や旅行代理店を対象としたセミナーが開催されました。瀬戸内クルーズのさらなる振興を目的とし、広島県・神戸市・岡山県・玉野市・香川県・北九州市・大分県が連携して取り組みを行いました。



セミナーの様子



瀬戸内の名産品



# 第11回 瀬戸内海首長サミット

## 「瀬戸内の魅力を世界へ向けて発信 ～クルーズ等による瀬戸内の地域資源を活かした観光振興～」

● 瀬戸内海首長サミット参加市町村

平成29年6月2日 ホテルアバローム紀の国(和歌山県和歌山市)



国土交通省大臣官房技術参事官 津田 修一

クルーズは地域を繋ぎ、地域の魅力を引き出す良いツールだと思っている。瀬戸内海は移動してよし、泊まってよし、観光してよしとクルーズのためある場所であると感じている。今は、クルーズの誘致に向けて活動する段階にきており、その活動の支援組織として瀬戸内・海の路ネットワークがある。過去にもゴミの収集活動を協力して行ってきた実績があるため、クルーズ誘致についても協力して情報発信やツアー開発などに取り組んでいく必要がある。



近畿運輸局長 若林 陽介

瀬戸内海クルーズの観光振興については、戦略的な段階になっていると思う。いろいろな瀬戸内海の魅力をどう見せるかを考え観光コースを企画し、ハイエンドクラスの人に見てもらえばSNS等で情報が発信され、次のツアーに繋がっていく。大阪の夢洲でIRの構想があるため、これを瀬戸内海クルーズのコンテンツの一つとして加えていただければと考えている。



大竹市長 入山 欣郎

本市は広島県で唯一和紙の製造を保存している地域であり、その文化が日本全体の魅力となると感じている。クルーズ船が入港した場合、本市は広島市、廿日市市、安芸太田町と連携して、和太鼓や神楽などの伝統文化を紹介している。瀬戸内海は各地で朝日や夕日が綺麗であり、ゆっくり楽しむことをアピールする活動が必要と考えている。小型クルーズ船によるきめ細やかな瀬戸内海の観光という考えに大きな期待を持っている。



坂町長 吉田 隆行

ベイサイドビーチ坂の年間を通じた賑わいを地方創生の一つとし、ビーチを整備する各種協議を進めており、人工海浜を多くの来訪者に利用してほしい。ビーチスポーツ活動を支援している。また、本町には、秋祭りや雅楽などの観光資源があり、雅楽は130年の歴史が秋祭りは曳船、頂戴、屋台の山車(だし)や獅子舞があり、隣接した熊野町には筆産業があるため、連携して日帰りツアーが提供できれば、地域活性化に繋がると考えている。



三原市長 天満 祥典

三原内港は、近接するJR三原駅と一体となった観光振興策を進めている。また、糸崎岸壁では大型クルーズ客船が寄港しており、市内観光を乗船客に堪能してもらっている。こうした施策をさらに進め、国内外からの観光客を増やしたい。松浜地区では、新たな埋立造成事業を行い、瀬戸内海の島々を巡る観光船などが発着する桟橋等の整備を計画している。海を活かした賑わいの創出により、地域振興と観光振興の実現をしていきたい。



高石市長 阪口 伸六

泉州全体の市町と連携してDMOを行うと協議を進めている。小豆島では、瀬戸内海で開催される「瀬戸内国際芸術祭」をきっかけに200人の移住者があり、若者を引きつける魅力を創り出す必要があると感じている。瀬戸内海には各地域に魅力があるため、海外に向けた情報発信や、訪日外国人の受入体制の構築など、本ネットワークを母体にDMOを作り、小型クルーズ船の誘致に繋げる方策があると考えている。



岬町長 田代 堯

様々なイベントを開催する中で、航路復活に向けた地元の気運を高めた結果、国土交通省等の協力を得て、6月25日から3ヶ月間、深日港・洲本港航路の社会実験運航を実施することとなった。社会実験運航が成功すれば、港の重要性や自治体間の連携の必要性を示すことができ、大型クルーズ船誘致については、タンダーボートによる旅客受入れ方策が検討されているが、泉州の港に寄港することは泉州の活性化に繋がると考えている。



和歌山市長 吉廣 啓子

和歌山は石炭の積出港から始まり、近年では自動車産業やセメント産業等が立地し昨年の取扱貨物量は過去最高の3529万トン記録した。このような工業港のため、クルーズ船の誘致には一見不向きとも取れるが、24時間利用可能な北九州空港や宮崎まで全線開通した東九州自動車道など広域的なアクセス網を利用し、産業・自然・食などの地域連携を進めることでクルーズ船の誘致は十分可能と考えており、前向きに取り組むたい。



宇和島市長 石橋 寛久

ラグジュアリークラスの外国クルーズ船が寄港する宇和島港は、広島・宮島と鹿兒島・屋久島という世界遺産のつなぎに位置している。接岸するときに現存12天守のひとつである宇和島城が港から見え、庭園や寺社があり短時間で日本の古い町を味わえ、真珠産業の見学もできるのが宇和島寄港の理由だそう。せとうちDMOの予算を使ってでも瀬戸内海のコースづくりを検討し、戦略的に船会社にアピールすべきではないか。



坂出市長 綾 宏

香川県内には、高松港と坂出港の2か所の重点港湾がある。高松港は主に観光港としての役割を担っており、また、バス移動が容易なことからクルーズ船の寄港実績がある。しかし坂出港は物流港であるため、高松港と同じようにはいかない。先般、四国地方整備局において、四国における瀬戸内海クルーズ振興検討会が設置されたが、本市を含め関係者が協力して現状認識と課題の整理を行い、地域全体でどのようにクルーズ船の受入態勢を構築していくか、知恵を出していく必要がある。



南あわじ市長 守本 憲弘

深日港一洲本港のフェリー航路の社会実験、関西国際空港一洲本港の旅客船運航など、インパウンドの取り込みに努めている。もし淡路島にクルーズ船が寄港する際には沖泊となるが、季節感のある食材やレンタサイクル等の提供も可能と考えている。また、淡路島では、鳴門の渦潮を世界遺産に指定する活動を進めており、鳴門の渦潮を眺めながらクルーズ船に海峽を通航してもらうことも良いと考えている。



由良町長 畑中 雅央

瀬戸内海において大型のクルーズ船が寄港できる港は限られているため、和歌山下津港のような拠点が必要になると思う。グルメ、歴史・文化、世界遺産、体験等のクルーズ客の嗜好性を考慮して、オプショナルツアーを開発する必要があると思う。クルーズ客のニーズに合致したツアーを作成することが大事であり、ツアーの内容も含めた海外向けのプロモーションを進めることが重要である。



湯浅町長 上山 章善

湯浅町は醤油の発祥地として平成29年度に日本遺産に認定された。郵船クルーズの飛鳥IIを誘致したいと思っていたが、大型船に対応した岸壁がなく、また入り江には浅瀬が多いため、本町の港では受け入れられないと思う。和歌山下津港にクルーズ船が寄港する際には、和歌山市・由良町などを連携先として協力し、ストーリー性のある観光を提案することで本町にもクルーズ客を誘致したいと考えている。



和歌山市長 尾花 正啓

1300年前から万葉で詠われた和歌の浦が「絶景の宝庫 和歌の浦」として、平成29年度に日本遺産の認定を受けた。景観の美しいところは世界共通の観光基盤であり、我々には瀬戸内海国立公園がある。さらに磨きをかけて世界にPRすべきと考える。また、クルーズ船の寄港は、内陸部を含めた広域に大きな効果があり、広域的な連携によるPRと誘致活動をするともに、港のある街は、クルーズ船寄港時のおもてなしが重要と考える。

※出席者の役職名は平成29年6月2日現在です。